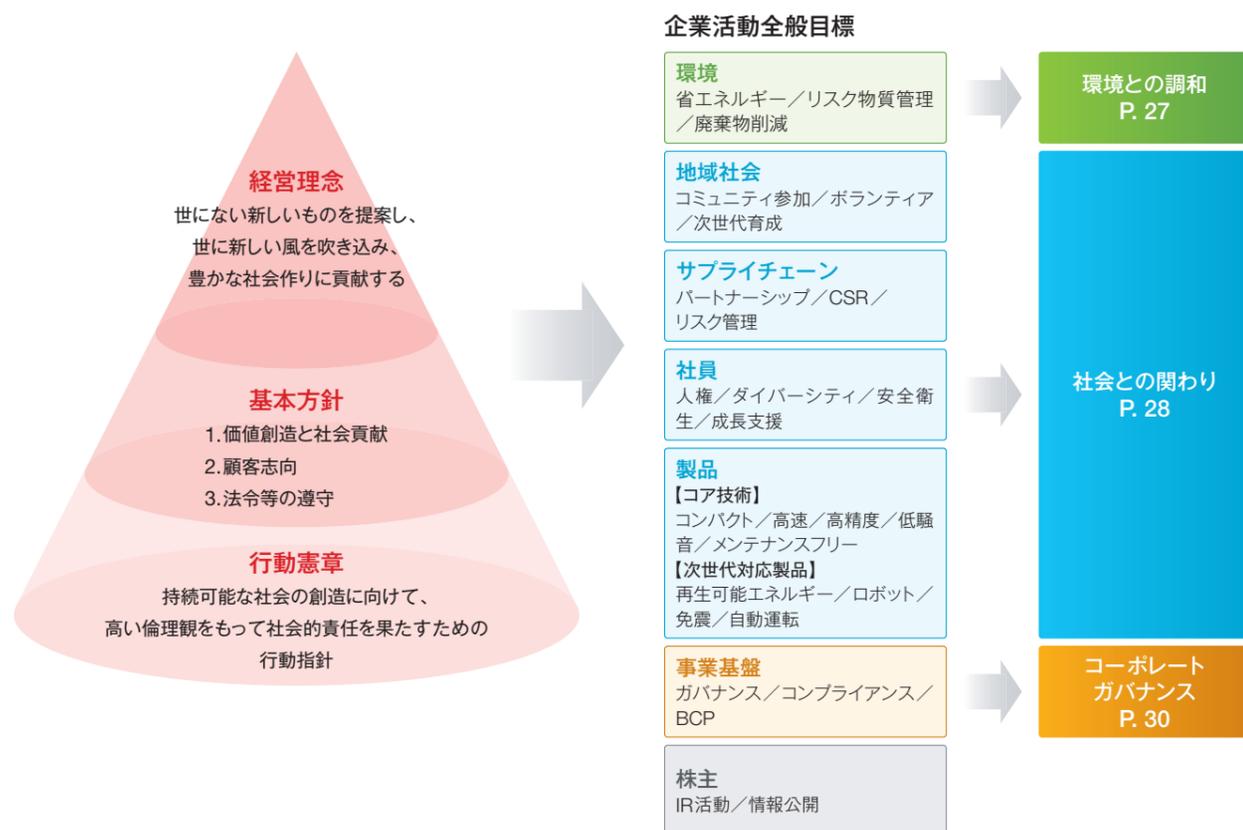


経営基盤 ESG/CSR

THKは、「世にない新しいものを提案し、世に新しい風を吹き込み、豊かな社会作りに貢献する」という経営理念のもと、企業としての成長を追求しながら、E (Environment:環境)、S (Social:社会)、G (Governance:ガバナンス)の3つの観点を重要と考え、事業を展開しています。

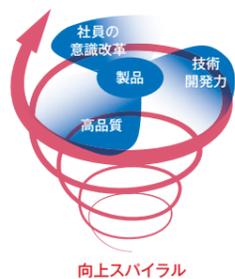
CSRの方針

THKは本業を通じて豊かな社会作りの実現、さらに長期的な企業価値の向上を目指し「経営理念」「基本方針」「行動憲章」をCSRの方針としています。



中でも経営理念にある「豊かな社会作りに貢献する」ための中軸となるのが「LMガイド」を中心とする製品開発です。

創造開発型企業として付加価値の高い新製品を開発し、新たな市場を創造し続けることが重要であり、そのためには社員の意識改革、技術開発力、高品質の向上スパイラルが効果的に機能することが必要であると考えています。



経営基盤 環境との調和

THKは、機械要素部品のメーカーとして世界に先駆けて開発した「直動システム」等を通じて社会・経済生活に貢献するとともに、地球環境を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは企業の社会的責務であるとの認識に立って、環境負荷の継続的な低減と自然環境の維持・改善に取り組んでいます。

THKグループ 環境基本方針

1. 環境の保全を経営の最重要課題の一つに位置づけ、当グループの事業活動及び製品やサービスが環境に与える影響を的確に把握することに努めつつ、適切な環境目標を設定して全部門で取り組みます。
2. 環境に関する法令等を遵守し、グループ内の自主基準を制定するとともに、適宜その見直しを実施して、環境経営の効率性と効果の向上を図ります。
3. 環境負荷の低減に貢献する製品の開発を継続的に推進します。
4. 事業活動に伴うエネルギー使用を削減し、エネルギー単位の低減及び温暖化ガスの排出削減を継続的に推進します。
5. 製造部門での廃棄物の削減・再利用などを中心に、省資源化・リサイクル化の施策を継続的に推進するとともに、汚染の予防に努めます。
6. 事業活動による生物多様性の影響を認識するとともに、生物多様性の保全に取り組みます。
7. 当グループが一体となった環境活動を展開するために、関連会社及び協力会社などに対して指導・支援を実施するとともに、地域社会との協調と連携に努めます。
8. この環境基本方針は、教育・訓練及び意識向上活動などによりグループ全部門に周知するとともに、環境に関する情報のグループ内外への適時開示を推進します。

2018年4月19日改定

集中クーラント装置の高効率・省エネ化

山口工場は2018年12月にクーラントの安定供給や稼働最適化に伴うエネルギー使用量の削減を目的として、第3工場の集中クーラント装置にインバーター用制御盤を導入し、高効率・省エネ化しました。その結果、従来と比べて消費電力は166kWh/日削減でき、原油換算で約15.43kℓ/年、CO₂排出量は46t-CO₂/年削減できました。



第3工場の集中クーラント装置にインバーター用制御盤を導入

埃付着防止用ポリ袋の使用量削減

THKリズム マレーシア工場では、自動車のステアリング関係部品、サスペンション関係部品等を製造しています。機械加工から組立への工程間で、部品に埃などが付着し、組立製品の作動のバラツキを防ぐために、従来はポリ袋に包んだ製品を箱に入れて搬送していました。資源削減活動の取り組みの一環として、部品を直接箱に入れ、段積みした箱の上からポリ袋を被せる方法へ変更した結果、前年に比べてポリ袋の使用量を82%削減することができました。



個別に包む方法

箱を重ねて全体を包む方法

ポリ袋使用量	254,547枚 (2017年)
	44,643枚 (2018年)
ポリ袋削減量	209,904枚 (82%減)

経営基盤 社会との関わり

THK共育プロジェクト

ものづくり企業としての経験を活かした「主体的な学び」への支援を目的として、株式会社リバネス^{※1}と共同で「THK共育プロジェクト」を、2017年から始動しました。2018年度は、中学生を対象とした『ものづくり出張授業』の実施と『ものづくり教材プログラム』の開発を行いました。出張授業は3月に開智日本橋学園中学校で2回実施し、教材プログラムでは中学校の先生方を対象にTHK本社で説明会を行いました。説明会後には検討委員会に出席いただき、THKの考える次世代人材像を説明の上、先生方の意見を取り入れた教材内容としています。

さらに、2017年度に続き、「第2回サイエンスキャスル^{※2}研究費THK賞」を開催しました。34件の応募から研究支援を行うテーマを10件採択し、12月に行った発表会で聖光学院中学校高等学校がTHK賞を受賞しました。

出張授業参加者の声

- たくさんの道具を使って工作することができて楽しかったです。
- 生徒一人一人がアイデアを出し合えるという場がとても良かったです。

先生方の声

- 「探求」に力を入れることを促す学習指導要領なので、答えのないものを作る今回のプログラムはその内容とよく合っていると思います。
- 生徒はみな、とても意欲的に取り組んでいたと思います。生徒が長時間でも全く集中力を切らしていなかったのは、本プログラムの有効性の表れだと思います。

※1 株式会社リバネス:「科学技術の発展と地球貢献を実現する」ことを理念とし、理系人材の育成と次世代教育に取り組む会社

※2 サイエンスキャスル:リバネスが主催する研究・開発に挑戦する中高生のための学会

取引先とともに

サプライチェーンにおいては、持続可能な社会の実現に向け、設計から販売まで社会規範の遵守や環境への配慮を図っています。2018年度は国土交通省から通達された新たな荷主勧告制度を受け、運送業者の業務軽減に向けた取り組みとして商品センターの出荷締め時間を従来の16時から15時へ1時間繰り上げました。さらに、当社グループでは当制度の運用開始に伴い、運送事業者に対して以下の主体的な関与を抑制する活動を行っています。

1. 荷待ち時間の恒常的な発生
2. 非合理的な到着時刻の設定
3. やむを得ない遅延に対するペナルティ
4. 重量違反等となるような依頼

今後も当社グループのCSR活動を推進する上でも、サプライチェーン全体での取り組みを実施していきます。

THK購買基本方針

お客様に満足して頂けるTHK製品を供給し続ける為に、取引先と共存共栄を目指した健全で良好なパートナーシップを構築する。

活動項目

1. 取引先とのコミュニケーションを重視した購買の実践/QCDESを総合的に考慮して、評価・選定を行う
2. 関連法令及び社会規範を遵守した公正かつ公平な取引の実施
3. 原価低減の為にコストダウン推進/各種プロジェクト及びVA提案等への積極的参画を促す
4. グローバル調達推進
5. BCP(事業継続計画)の実践
6. グリーン調達による環境への配慮

THKのサプライチェーン項目

設計

- 長期メンテナンスフリー
- 低騒音・低発塵
- 食料品グリースの開発

調達・購買

- 環境リスク物質含有調査
- 下請代金支払遅延等防止法の遵守
- 反社会的勢力との取引等排除

生産

- 省エネ法への対応
- ゼロエミッションの追求
- 環境負荷の低減
- 安全な職場環境の維持

流通

- 反社会的勢力との取引等排除
- 航空貨物安全宣言
- 通い箱使用によるごみ低減

販売

- 梱包材の回収及び再利用
- 安全運転の励行
- 公正、適正な取引

障がい者の方の活躍



山口工場 品質保証課
藤本 博之

2000年の入社以来、工場内で取り扱っているすべての計測機器の校正及び修理対応を担当しています。校正とは、測定器が正しく作動し、正確に測定値を表しているかの検査を指しています。故障原因は浸水や落下等様々ありますが、業者に依頼するのではなく、コストや時間を考慮し極力自分で修理します。修理作業は自分に合っていて、修理時の達成感は何とも言えません。2018年9月には私の仕事に対する取り組みが評価され、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構から理事長努力賞の表彰を受けました。

聾学校時代の工場見学でTHKを知り、その際の社員の方々の丁寧な対応に良い会社だと思い入社を決めました。実際に働いてみて、積極的に声掛けをしてくれるなど、体から溢れ出る優しさを感じます。今回の努力賞受賞も周りの方々の協力のおかげだと感謝しています。

今後も県知事賞や厚生労働大臣賞等、さらに上を目指して頑張ります。



賞状

地域住民との共生

THK(遼寧)精密工業有限公司の孫副総経理は、2012年に大連市行政区の一つである大連金普新区の政協委員に就任して以来、毎年地域住民の要望を取り入れた提案を行っています。

2017年度に提案した「養老サービス体制の強化」は、両親が共働きの子供達にお年寄りと触れ合えるコミュニティセンターの設立を目指すというものです。

当提案は大連市の第7回優秀提案賞を受賞し、同時に大連市の施策として採用されました。大連市は2018年3月に「2018年大連市住民とお年寄りのコミュニティセンター建設の指導標準」を公布し、今後養老サービス体制の強化を進めていく予定です。



賞状

次世代対応製品の開発

一般財団法人新エネルギー財団の新エネルギー等に係る機器の開発、設備等の導入及び普及啓蒙の取り組みにおいて、2018年度は「商品・サービス部門」で、THKの垂直軸風車用低トルクシャフトユニットWLSが新エネルギー財団会長賞を受賞しました。

WLSは垂直軸風車のシャフトと軸受、軸受を保持するハウジングを一体化した高強度、低トルクかつ高効率な軸受ユニットです。風車の国際安全基準IEC61400-2 や日本のJSWTA0001 に基づいた十分な強度と耐久性、高い安全性を確保しています。加えて、回転機械部品の設計、軸受の組立精度管理や予圧調整等の工数が削減でき、今後海外市場を含めた展開も期待できる点が評価され受賞にいたりしました。



受賞後の製品展示



賞状

経営基盤 コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンスに対する基本的な考え方

THKは、「企業価値の最大化」の観点から、株主様を含むすべてのステークホルダーの皆様との適切な協働を通じて持続的に成長することにより、中長期的な企業価値の向上を目指すため、コーポレートガバナンスの充実に取り組んでいます。

THKのコーポレートガバナンス体制

2014年6月からは執行役員制度を導入し、さらに2016年6月18日開催の第46期定時株主総会後には監査等委員会設置会社へと移行するとともに、取締役会の諮問機関として任意の指名諮問委員会及び報酬諮問委員会を設置しました。これにより、経営に関する透明性、客観性を高めるとともに、取締役会の監督機能の強化と経営に関する意思決定及び業務執行の迅速化と効率化を図っています。

取締役会

取締役会は、社外取締役1名を含む取締役（監査等委員である取締役を除く。）8名と監査等委員である社外取締役3名で構成され、経営全般の重要事項の意思決定及び取締役・執行役員等の職務執行について監督を行います。また、東京証券取引所

及びTHKの定める独立性判断基準に従った独立性を有し、かつ企業会計及び経営全般に関する専門的な知見・資格等を有する社外取締役が4名と全取締役の3分の1以上を占め、経営の中立性、適法性、妥当性をさらに高め、経営の監督機能の向上を図っています。

監査等委員会

監査等委員会は、監査等委員である社外取締役3名で構成され、内部統制システムを利用し、取締役及び執行役員等の職務執行の状況について監査、監督を実施します。また、監査等委員会は会計監査人との連携により、監査の実効性を高めています。加えて、監査等委員及び監査等委員会をサポートする監査等委員会事務局を設置しています。監査等委員会事務局は、監

査等委員会の指示に従い、内部監査室及び内部統制の整備・運用を担うリスク管理室に指示伝達を行うなど各部署との調整を行います。

指名諮問委員会・報酬諮問委員会

任意の指名諮問委員会及び報酬諮問委員会は、各委員会規約において半数以上を社外取締役とする旨を定めており、それぞれ社外取締役2名を含む取締役4名にて構成しています。各委員会は、取締役会の諮問機関として取締役の候補者案、報酬案について検討、審議し、その内容を取締役に提案します。取締役会では、その内容をもとに審議を行い、決議することとしています。

執行役員制度

執行役員制度の導入により、取締役会による経営監督機能の向上に加え、業務執行に関する役割と責任を明確化するとともに、意思決定・業務執行の迅速化を図っています。取締役及び執行役員の出席する執行役員会、さらに執行役員会のメンバーに加えて各事業部門、関係会社の責任者が出席するグローバル経営戦略会議を実施し、取締役及び執行役員等の経営陣が連携することによりグループ全体で情報を共有化するとともに、コーポレートガバナンスの向上を図っています。なお、執行役員の業務執行に対する責任を明確化するため、執行役員の任期を1年としています。

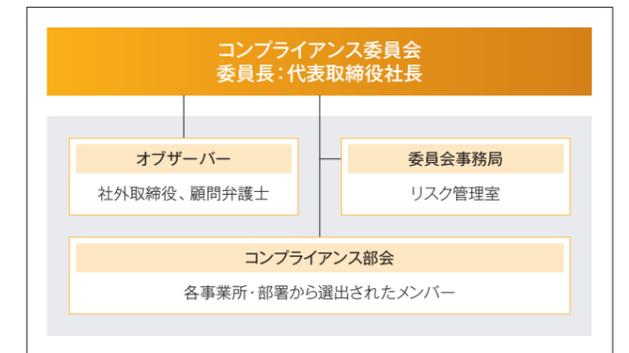
株主総会

THKでは、以前からすべてのステークホルダーの方々とのコミュニケーションの充実を極めて重要なものと位置付け、積極的に適正かつ公平な情報開示に努めています。株主総会の運営にあたっては、「開かれた総会」を目指し、1998年から株主総会の集中時期を避けた土曜日に開催しています。株主総会では、取引先をはじめとしたステークホルダー向けに見学席を設けています。総会終了後には製品展示会を開催し、より多くの方にTHKをご理解いただけるよう努めています。



コンプライアンス体制

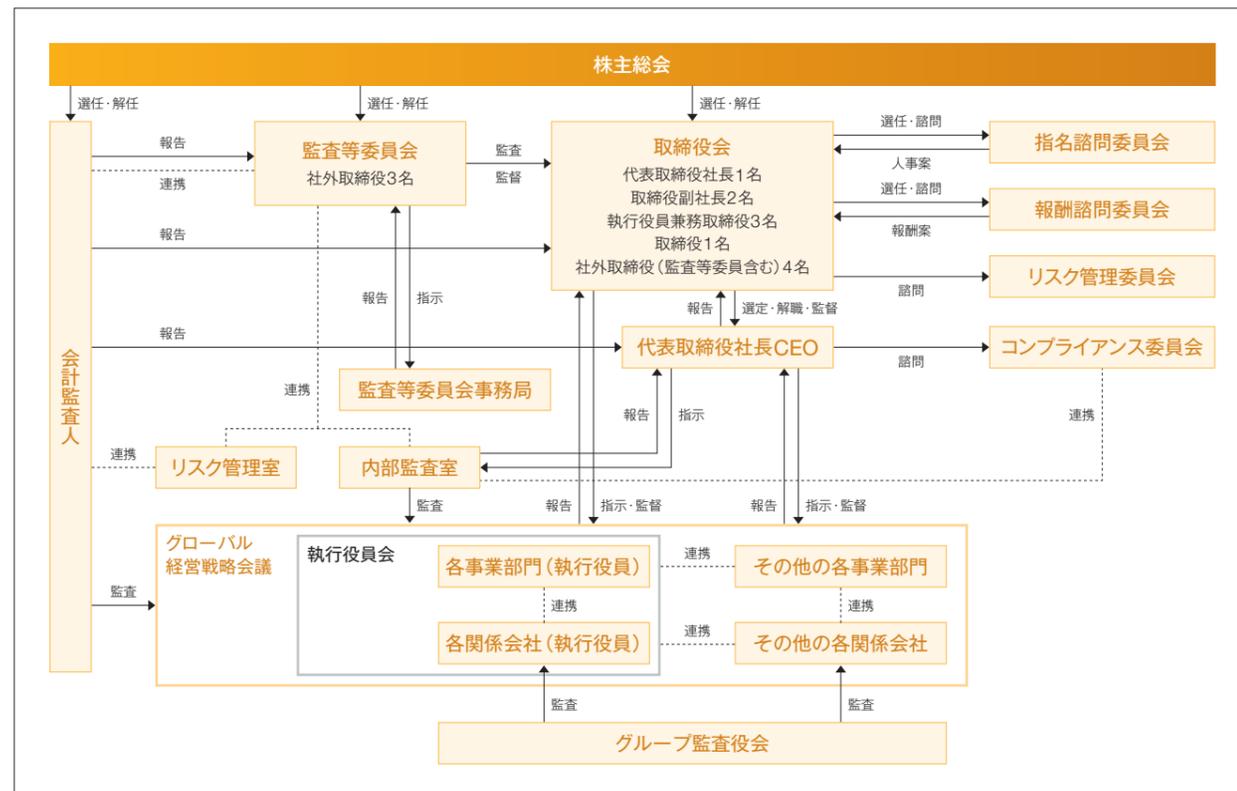
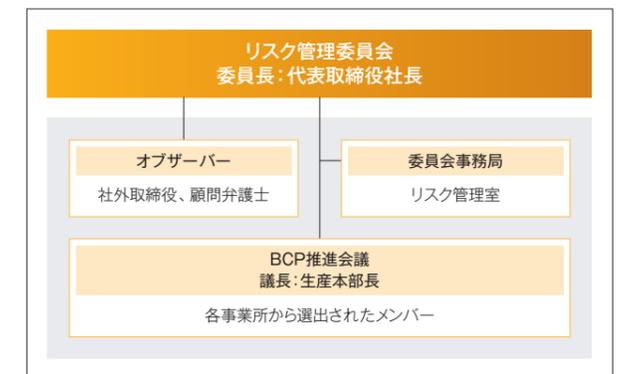
社長を委員長とするコンプライアンス委員会では、年間活動計画の承認と実施報告、従業員の法令等違反や社内通報案件への対応報告等を行っています。社外取締役、顧問弁護士にも参加いただき、適正、適法に運営されています。さらに、コンプライアンス委員会の下部組織としてコンプライアンス部会を設置し、事業所・部署ごとに部会メンバーを選任しています。部会メンバーはコンプライアンスに関する自主的な勉強会の開催や相談窓口を担うなど、体制維持の重要な役割を担っています。



リスク管理委員会

THKは、想定されるリスクの把握と分析、対処を経営的かつ全社的な視点から行い、経営陣による適切なリスクテイクを支える「先を見越した」リスク管理体制の整備に取り組んでいます。

社長を委員長とするリスク管理委員会は、「積極果敢なリスクテイクを要素とする攻めのガバナンスの実現」を方針として、年に1回開催しています。社外取締役、顧問弁護士にも参加いただき、年間活動計画の承認に加え、当社全体を見渡したリスクコントロールの実施等によりリスク管理体制の確立、浸透、及び定着を図っています。



取締役・執行役員 (2019年3月16日現在)

▶ 取締役



寺町 彰博
代表取締役社長CEO



寺町 俊博
取締役副社長CIO



今野 宏
取締役副社長CFO



横 信之
取締役専務執行役員
輸送機器統括本部長



寺町 崇史
取締役専務執行役員
産業機器統括本部長
THKインテックス株式会社代表取締役社長



下牧 純二
取締役専務執行役員
産業機器統括本部副本部長
産業機器統括本部営業本部長



坂井 淳一
取締役
(品質保証、リスク管理、生産技術管掌)



甲斐荘 正晃
社外取締役



日置 政克
社外取締役
監査等委員



大村 富俊
社外取締役
監査等委員



上田 良樹
社外取締役
監査等委員

▶ 執行役員

常務執行役員
大久保 孝
THK (中国) 投資有限公司 副董事長

常務執行役員
杉田 正樹
THK Holdings of America, L.L.C.
代表取締役社長
THK America, Inc. 代表取締役社長

常務執行役員
林田 哲也
社長付特命担当

常務執行役員
澤田 雅人
輸送機器統括本部副本部長
THKリズム株式会社 取締役副会長

常務執行役員
星野 京延
産業機器統括本部IMT事業部長
THKインテックス株式会社 取締役副会長

常務執行役員
神戸 昭彦
産業機器統括本部生産本部長

常務執行役員
星出 薫
産業機器統括本部技術本部長

常務執行役員
松田 稔貴
THK Europe B.V. 代表取締役社長
THK GmbH 代表取締役社長
THK France S.A.S. 代表取締役社長
THK Manufacturing of Europe S.A.S. 代表取締役社長
THK Manufacturing of Ireland Ltd. 代表取締役社長

執行役員
木下 直樹
THK (中国) 投資有限公司 總經理

執行役員
山田 幸男
産業機器統括本部営業本部副本部長
産業機器統括本部営業本部海外営業統括部長

執行役員
中西 雄大
産業機器統括本部生産本部副本部長
産業機器統括本部生産本部生産技術統括部長
産業機器統括本部生産本部グローバル調達統括部長

執行役員
星野 恭敏
経営戦略統括本部副本部長

執行役員
中根 建治
経営戦略統括本部財務経理統括部長

執行役員
降幡 明
THKリズム株式会社 代表取締役社長

執行役員
木村 雅樹
社長室長
経営戦略統括本部総合企画統括部長

社外取締役の選任

甲斐荘 正晃 2012年6月 当社社外取締役就任 重要な兼職状況 株式会社KAINOSHO代表取締役 大妻女子大学短期大学部教授	選任理由	経営学に精通した大学教授ならびに経営コンサルティング会社の経営者としての豊富な経験と実績及び見識を有しているため。
	独立性その他の事項	1976年4月から1996年4月まで、当社の現在の借入先である株式会社三井住友銀行の前身である株式会社三井銀行に在籍していましたが、一貫してシステム関連部門に属しており、かつ当社は当時株式会社三井銀行との取引関係はなかったため、独立性を有すると判断しています。

日置 政克 2016年6月 当社社外取締役(監査等委員)就任 重要な兼職状況 株式会社すき家本部社外取締役 株式会社瑞光社外取締役 立命館大学大学院客員教授	選任理由	グローバル企業かつ製造業における人事・総務を主とした経営部門での責任者としての豊富な経験と実績及び見識を有しているため。
	独立性その他の事項	株式会社小松製作所の出身者であり、当社と株式会社小松製作所の間に当社製品の販売等の取引関係がありますが、当連結会計年度におけるその取引額の割合は当社及び同社の売上高の1%未満であることから、独立性を有すると判断しています。

大村 富俊 2016年6月 当社社外取締役(監査等委員)就任 重要な兼職状況 公認会計士 大村公認会計士事務所所長	選任理由	長年にわたり公認会計士として培った企業会計に関する知識に加え、会計に関する専門家として、豊富な経験と実績及び見識を有しているため。
	独立性その他の事項	当社と大村氏との間に特別な利害関係はありません。また、直接的に会社経営に関与した経験はないものの、上記理由により当社の社外取締役としての職務を適切に遂行できるものと判断しています。

上田 良樹 2016年6月 当社社外取締役(監査等委員)就任 重要な兼職状況 新東工業株式会社社外取締役 株式会社牧野フライス製作所代表取締役副会長 国立大学法人静岡大学客員教授	選任理由	グローバル企業における機械関連事業の分野に長年従事した経験を有しており、会社経営においても精通している経営者として、豊富な経験と実績及び見識を有しているため。
	独立性その他の事項	新東工業株式会社の社外取締役、株式会社牧野フライス製作所の代表取締役副会長及び国立大学法人静岡大学の客員教授であります。当社と新東工業株式会社との間に同社製品の購入等の取引関係がありますが、当連結会計年度におけるその取引額の割合は当社及び同社の売上高の1%未満であります。また当社と株式会社牧野フライス製作所の間に当社製品の販売等の取引関係がありますが、当連結会計年度におけるその取引額の割合は当社及び同社の売上高の1%未満であります。当社と国立大学法人静岡大学との間には特別な利害関係はありません。